

1 単元構想

単元名	たのしいあき いっぱい (全21時間)		
内容の まとまりの 目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとする事ができる。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価 規準	①色や形、においなど、秋の自然の様子と夏の自然の様子との違いに気付いている。 ②季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。 ③いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。 ④自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	①秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。 ②秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうか想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。 ③様々な自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃを作っている。	①幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。 ②秋の自然と関わりたいという思いを持ち、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びやおもちゃ作りを楽しもうとしている。 ③自分で遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。
単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化に気付き、身近な自然を使って遊ぶ物や遊びを工夫しながら創り出し、みんなと楽しみながら活動する児童。			
単元を通した課題		本単元で働かせる見方・考え方	
身の回りの秋を見付け、おもちゃを作って幼稚園のお友だちと一緒に遊ぼう。		遊びや遊びの面白さ、自然の不思議さに気付き、楽しみながら遊びを創り出そうとすること。	
指導計画と評価計画 (一連の活動と評価)			
過程	時間	○学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」 ※ ESD の価値観
一	3	○校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、それらを使って友だちと簡単な遊びをしたりする。 ○夏の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードに書く。 ・緑から色が変わった葉っぱがあるね。 ・バッタの色が変わったね。 ・そろそろどんぐりが落ちていそう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">秋と春や夏との違いは、何だろう？</div>	★【知①】 (記録カード・発言) ○色や形、においなど、秋の自然の様子と夏の自然の様子との違いに気付いている。 ★【思①】 (観察・記録カード) ○秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。 【態①】 (発言・観察) ○幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。

二	5	<p>○交通ルールやマナーを守りながら公園へ行き、遊んだり自然を観察したりする。</p> <p>○見つけた葉っぱや木の実などで簡単にできる遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが黄色や赤色、茶色に変わってきたね。 ・セミがいなくなって、コオロギと茶色のバッタがいたね。 ・どんぐりがあったよ。帽子をかぶっていてかわいいね。 ・洋服にくっつく実があったね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>もっと楽しくあそべないかな。</p> </div>	<p>★【知②】（発言・記録カード）</p> <p>○季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。</p> <p>★【思②】（観察・記録カード）</p> <p>○秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうか想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。</p>
三	6	<p>○見つけた葉っぱや木の実などを使って、工夫をしながらおもちゃを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりで楽器を作ったら楽しい音になりそう。 ・くっつく実を使ったら、魚釣りゲームができて、面白そう。 <p>○作ったおもちゃで友だちと一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるような作り方や遊び方の工夫を考え、みんなで遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・的あてゲームは、的を増やしたり、投げるところで点数を変えたりしてももいいね。 ・誰かを招待して、もっと楽しめる会にできないかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おもちゃランドに幼稚園の友だちを招待して、喜ばせられないかな。</p> </div>	<p>★【知③】（発言・記録カード）</p> <p>○いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p>★【思③】（観察・記録カード）</p> <p>○様々な自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃを作っている。</p> <p>★【態②】（観察・記録カード）</p> <p>○秋の自然と関わりたいという思いを持ち、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びやおもちゃ作りを楽しもうとしている。</p>
四	7	<p>○園児との「おもちゃランド」に向けて話し合い、計画を立て、準備を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>幼稚園のみんなに楽しんでもらいためには、どうしたらいいかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び方をやさしく教えたいね。 ・「ようこそ！」の看板を作りたいね。 ・案内する人とおもちゃ屋さんを分けると幼稚園のお友だちも安心だね。 <p>○「おもちゃランド」で園児と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>○おもちゃを作ったことや遊んだことを振り返り、記録カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のもので遊ぶって面白いね。 ・おもちゃや遊びを考えるのって楽しいね。 ・幼稚園のお友だちに喜んでもらえて嬉しいね。 	<p>★【知④】（発言・記録カード）</p> <p>○自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。</p> <p>★【態③】（観察・記録カード）</p> <p>○自分で遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。</p>

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）				
【小学校学習指導要領】 「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」 内容（6）自然や物を使った遊び				
単元の価値				
本教材は、秋の自然を体全体で感じながら繰り返し自然と触れ合うことで、自然を使った遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたり、遊びを創り出す楽しさや夢中になって遊ぶ楽しさを味わったりすることに適している。				
本単元における系統				
なつがやってきた ・こうていでくさばなやむしがさがそう ・みんなのこうえんであそぼう ・みずであそぼう	たのしいあきいっぱい ・こうていであきをさがそう ・こうえんであきをさがそう ・はっぱやみであそぼう ・あきのおもちゃをつくろう ・いっしょにあそぼう	ふゆをたのしもう ・こうていでふゆをさがそう ・ふゆのこうえんにいこう ・そとであそぼう		
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
■本単元の学習に関する意識の状況（アンケート実施者26名、2名欠席）				
調査内容	とても	まあ まあ	あまり	ない
朝顔や野菜を育てたり、虫取りをしたりすることは好きですか。	19名	5名	2名	0名
自分で遊びを考えたり遊ぶ道具を作ったりするのは好きですか。	22名	4名	0名	0名
友だちの意見を聞いて、「いいな」「すごいな」「まねしたいな」とおもうことはありますか。	10名	8名	6名	2名
秋の自然物（落ち葉、どんぐり、まつぼっくりなど）でどんな遊びをしたことがありますか。 ・どんぐりごま ・マラカス ・落ち葉で絵を作った				
■考察 栽培活動や生き物に触れ合う活動など、自然と関わる活動に興味関心がある児童が多く、活動を楽しんでいることが分かる。様々な活動で気付いたことや楽しさを記録カードに絵や自分の言葉で書くことに慣れ、少しずつ上手になってきているが、気付きや楽しさを友だちと共有したり、互いの考えを比べたり関連付けたりすることが十分ではない。これまでは、「自分が楽しむ」活動が多く相手意識をもって自分たちで話し合いながら一つのものを作り上げるという経験は、まだほとんどない。目的や視点を明確にした話し合いの場を意図的に設定することで、よりよいものを創り上げようとして友だちの考えを受け入れたりしようとする態度を育てていきたい。				

3 指導に当たっての留意点

- 春や夏の校庭探検のときの写真や記録カードを振り返り、秋の自然の様子との違いや、四季の変化に気付けるようにする。
- 校庭や公園などで、秋の自然物を探す時間や遊びを楽しめる時間を十分に確保する。
- おもちゃを製作する際は、同じおもちゃでグループを作り、互いに制作している様子を見合えるようにすることで、友だちの作り方の工夫や自分との違いに気付けるようにし、参考にしたり考えを広げたりしながら制作ができるようにする。
- 学級での「おもちゃランド」と園児を招いての「おもちゃランド」と遊ぶ機会を2回設定することで、相手意識を持たせおもちゃや遊びのルールを試行錯誤する必然性を持たせ、よりよいものを創り出そうという意欲を高める。
- 振り返りの時間を設定し、秋の自然の楽しさを共有し、「おもちゃランドをやってよかった」「みんなで頑張ってたかった」と達成感が得られるような活動にする。

4 ESDとの関連

○この題材で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- 多様性** … 四季によって自然の様子が異なることや様々な葉や木の実、虫がいることに気づくこと。
- 相互性** … 身の回りの自然環境と自分の生活が関わり合っていること。
- 連携性** … 友だちと協力して活動をしたり、おもちゃ作りや「おもちゃランド」での交流会をしたりすることを通して、友だちや園児などに関わることができること。
- 責任性** … 公共施設を安全に利用すること。また、おもちゃを最後まで仕上げ、「おもちゃランド」の準備や当日の係など、自分の役割を果たすこと。

○この学習で育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

どのような工夫をすると楽しいおもちゃや交流会になるのか話し合ったり、園児に遊び方を説明したりする。

他者と協力する態度

自分たちで試行錯誤しながらよりよいものを作り上げようと友だちと協力する。

進んで参加する態度

幼稚園児が楽しんだり安心して活動に参加したりするように、よりよいものを創り出そうとする。

○この学習を通して育てたいESDの価値観

自然環境・生態系の保全を重視する

秋を探す活動を通して、身近な自然環境と自分との関りを感じ、これからも大切にしていこうという思いを持つ。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

身近にある自然の豊かさを実感し、郷土の自然の恵みに喜びを感じるとともに、他者と関わる楽しさに気づく。

○関連するSDGs

15 陸の豊かさを守ろう

5 本時の学習

(1) 目標 「秋のおもちゃ」「幼稚園の友だちに楽しんでもらう」の視点に沿って、「秋のおもちゃランド」をよりよくするための工夫を考えることができる。

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意点 (学習活動の目的、意図、内容、方法等)
導入	5	<p>1 前時までを振り返り、どんな活動にしたいのか振り返る。</p> <p>◇おもちゃの遊び方がパワーアップして、楽しくなったね。</p> <p>◇幼稚園の子に、楽しんでもらうためにはどんな説明をしたらいいかな。</p> <p>◇プレゼントを作るのもいいかも。</p>	<p>○前時の学級での「おもちゃランド」を振り返り、次は「自分たちが楽しむ」から「幼稚園の友だちを楽しませる」に目的が変わることを伝える。</p>
<p>【めあて】 幼稚園のお友だちに楽しんでもらうために、「おもちゃランド」をもっとパワーアップさせよう。</p>			
展開	3 5	<p>2 幼稚園の友だちにも楽しんでもらえる工夫を考える。</p> <p>◇遊び方の絵を描いておくと、説明が分かりやすくなるな。</p> <p>◇まっぼっくりでプレゼントが作れそう。</p> <p>◇優しく教えたいな。初めての場所で緊張しているかもしれないな。</p> <p>3 学級全体で、工夫を話し合う。</p> <p>◇大きな看板を作るといいと思います。わけは、どんなことができるのかわくわくしてくるからです。</p> <p>◇おもちゃ屋さんを手を繋いで案内すると分かれておくといいと思います。わけは、次にどこに行くかすぐ教えられるし、不安じゃなくなるからです。</p> <p>◇「おもちゃランド」カードを作って、遊んだところにスタンプを押すといいと思います。わけは、楽しいし、まだ行っていないところもすぐ分かるからです。</p> <p>◇教室を落ち葉で飾り付けるといいと思います。わけは、教室全体が秋になったら楽しいからです。</p>	<p>○話し合いの目的を「幼稚園のお友だちに楽しんでもらうため」と再度確認し、自分たちが楽しむのではなく、招待した相手のことを考えることをおさえる。</p> <p>○「遊ぶとき」と「会全体」の2つの視点に分け、工夫を考えさせる。</p>
		<p>【期待される学びの姿】 「幼稚園の友だちに楽しんでもらう」という目的に沿って自分の意見を伝えたり、友だちの考えを聞いたりして話し合いに参加している。</p>	<p>○司会、副司会、書記、タイマーの児童を中心に話し合いを進める。</p> <p>○意見を出す際に理由を明確にしている児童をほめ、相手に分かりやすく説明することが大切であることを伝える。</p> <p>○意見が出にくい場合はシンキングタイムをとったり、発表できるよう励ましたりする。</p> <p>○話し合いがうまく進まなくなった場合は、目的を確認し、話し合いの視点がずれないようにする。</p> <p>○友だちの意見のよさに納得したら自分の意見を変更してもよいことを伝え、折り合いをつけながら決定していく。</p>
		<p>【この学習を通して育てたいESDの価値観】 身近にある自然の豊かさを実感し、郷土の自然の恵みに喜びを感じるとともに、他者と関わる楽しさに気づく。</p>	<p>【具体的な評価基準】 思考・判断・表現 目的に沿って話し合い、よりよくする方法を考えている。</p>
終末	5	<p>4 話し合いで決まったことを確認する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>◇幼稚園の友だちに楽しんでもらう工夫がたくさん考えられたな。</p> <p>◇「秋のおもちゃランド」が楽しみだな。</p>	<p>○決まったことは、役割分担をして学級全体で取り組むことを伝える。</p> <p>○振り返りを交流したりよかったところを伝えたりして、「おもちゃランド」に向けての気持ちを高められるようにする。</p>